

事務事業	61	学校跡地を活用したひろばづくり					
章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち					
大項目	03	ふれあい、参加、協議の推進					
施策	02	コミュニティ施設の充実と利用の促進					
事業内容							
目的	地域の多様な主体により、ともに支え合い助け合う都市にふさわしいコミュニティを創出します。世代を超えた豊かな交流を育み、新たな活力を生み出します。地域住民による地域貢献活動の場としての活用を図るとともに、地域文化の発信拠点としていきます。						
対象・手段	四谷第四小学校跡地を地域のひろばとして活用していきます。ひろばづくりにあたっては、地域の方が自主的・主体的に企画・立案段階から参画し、運営するという、参加と協働によるひろばづくりのモデル事業とします。						
成果(事業が意図する成果)							
地域住民による地域貢献活動の場として活用されます。世代を超えた交流の輪が広がります。							
事業成果指標							
指標名		定義			目標水準		
運営協議会準備委員会(四谷地区協議会四谷ひろばプロジェクト)の設置・開催		ひろばを自主管理・自主運営する運営協議会の準備委員会。平成18年度6回開催			(平成18年度)に (6回開催)の水準達成		
					()年度に ()の水準達成		
					()年度に ()の水準達成		
成果の達成状況							
	単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考	
事業 成果 指標	目標値 1	回	0.00	0.00	6.00	6.00	
	実績 1	回	0.00	0.00	6.00	6.00	
	= /	%	0.00	0.00	100.00	100.00	
	目標値 2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績 2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
	目標値 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成17年度	地域の検討会として、四谷地区協議会の課題別プロジェクトを設置し、学校跡地の活用の方向性・運営方法などを検討しました。						
平成18年度	地区協議会の意見書を受けて区の活用方針を決定し、地域が自主管理・自主運営するひろばの運営協議会準備委員会を設置。開設に向けて、アンケート・地域意見交換会を行うなど、準備を進めました。また、建物の耐震診断等、施設整備に着手しました。						

部名称		地域文化部		課名称		四谷特別出張所	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	0	0	239	2,511	
	人件費	千円	0	0	4,169	4,140	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	0	0	4,408	6,651	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	0	0	4,408	6,651	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	0	0	4,408	6,651	
	特定財源		0	0	0	0	
	一般財源投入率 /	%	0.00	0.00	100.00	100.00	
職員	常勤職員	人	0.00	0.00	0.50	0.50	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
事業に関する検討課題							
<p>今後の主な取組みは、次の3点です。参加と協働によるひろばづくりのモデル事業として、区は支援を続けます。</p> <p>ひろば事業を運営する地域住民を主体とした運営協議会を設置します。</p> <p>具体的な事業の実施に向けて、準備を進めていきます。</p> <p>耐震工事等の施設整備を行います。</p>							
評価基準に基づく評価と理由	達成度	2	平成18年10月に開設準備のための検討会として、仮称四谷ひろば運営協議会準備委員会（四谷地区協議会課題別プロジェクト）を設置し、委員会を6回開催し、地域により自主管理・自主運営していく方向で開設準備が進められています。				
	効率性	3	仮称四谷ひろば運営協議会準備委員会において事業計画の策定が進められ、地域により自主管理・自主運営していく方向で、開設準備が進められています。				
	実施の成果	2	地域に新たな交流と活力を生み出します。				
	行政の関与	3	参加と協働によるひろばづくりのモデル事業として、区は支援を行います。				
	妥当性	3	地域で考え、地域でつくるひろばづくりのモデル事業とすることは、妥当であると考えます。				
	施策寄与度	2	地域のコミュニティの核となり、交流の促進が図られます。				
総合評価	仮称四谷ひろば運営協議会準備委員会（四谷地区協議会課題別プロジェクト）において、地域住民による地域貢献活動の場・世代を超えた交流の場として活用されるよう、具体的な事業計画の策定等の開設準備が進められています。幅広い地域団体からボランティアを募り、大勢の方が運営に携わっていく仕組みが検討されており、ともに支え合い助け合う都市型コミュニティの創出や新たな交流と活力が生まれることが期待できます。						B 過年度評価
							17年度 B 16年度 15年度 14年度
改革方針							方向性
	平成19年度中に地域のひろばとしての施設利用が開始できるよう、地域及び関係団体と調整を図りながら準備を進めていきます。						1 現状のまま継続